

拉致問題に関するオンライン 国連シンポジウム

グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携

日本、米国、豪州、EU 共催

令和3年6月29日(火)

日本時間 21:00-22:40 (NY時間 同日午前8:00-9:40)

北朝鮮による拉致問題は、国際社会の重大な懸念事項です。日本、米国、豪州政府及びEUは、国連のサイドイベントとして、国連加盟各国代表部の参加を得て、「グローバルな課題としての拉致問題の解決に向けた国際連携」をテーマにオンライン・シンポジウムを開催します。

本シンポジウムでは、日本及び諸外国の被害者御家族の方々の「生の声」の訴えに耳を傾けると共に、各国の北朝鮮専門家をお招きし、拉致問題の解決に向けた方途について議論していただきます。

1 開会の辞	石兼公博 特命全権大使・国連日本政府常駐代表
2 基調発言	加藤勝信 内閣官房長官兼拉致問題担当大臣
3 共催国等代表挨拶	米国政府代表(調整中) ミッչェ・フィフィールド 特命全権大使・国連オーストラリア政府常駐代表 オラフ・スコーグ 国連EU常駐代表
4 拉致議連代表挨拶	古屋圭司 北朝鮮に拉致された日本人を早期に救出するために行動する議員連盟会長
5 被害者御家族からの「生の声」の訴え	横田拓也氏 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長 飯塚耕一郎氏 北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局次長 植村照光氏・光子氏 特定失踪者家族会副会長・同氏夫人 ジェームズ・スネdon氏 デービッド・スネdon氏 兄 ガブリエル・ブンベア氏 ドイナ・ブンベア氏 弟 バンジョン・パンチョイ氏 アノーチャ・パンチョイ氏 妹
6 パネル・ディスカッション	モデレーター 星野俊也氏 大阪大学大学院教授 パネリスト 平岩俊司氏 南山大学教授 フランク・ジャヌージ氏 モーリーン・アンド・マイク・マソスフィールド 財団理事長・最高経営責任者 イ・ジョンフン氏 延世大学教授、前韓国外交部北朝鮮人権国際協力大使
7 閉会の辞	加藤勝信 内閣官房長官兼拉致問題担当大臣

本シンポジウムの模様は、国連Webテレビ(英語)及びYouTube拉致問題対策本部公式動画チャンネル(日本語)を通じて、生中継しますので、奮って御視聴ください。

